

## 岩倉市タウンミーティング（まちづくり百貨店）会議録

平成26年11月20日(木)

午後7時30分～午後9時10分

喫茶店ぼん。(かがよひ)

出席者 まちづくり百貨店 15名

市長 副市長 総務部長 企画財政課長 商工農政課長

秘書課長 企画政策グループ長 広報広聴グループ 2名

### 1 あいさつ

まちづくり百貨店代表あいさつ

市長あいさつ

### 2 懇談（要旨）

テーマ「市民活動と行政の関係について」

総務部長より「岩倉市の協働の歩み」について資料に基づいて説明を行い、質疑応答、懇談を行った。

【質問】 市民活動団体は行政にどのように関わられるのか。また、私たちの行っている「いわくら・ひと・かぼちゃ・まつり」などのイベントについて行政側はどのように考えているのか教えてほしい。

【回答】 イベントなどでは、市が行った方がいいもの・市と市民活動団体が協働で行った方がいいもの・市民活動団体だけで行ったものがある。市民活動団体は自由に好きなことができるが、行政はそうはいかない。公金を使っていいかどうかの判断が必要になる。

いわくら・ひと・さくらまつりについては、市の行う桜まつりと日にちが違って紛らわしいという苦情が市に対してあったようだが、それはきちんと説明をすればよい。

市を盛り上げようという意欲的な人がたくさんでてきてくれるとよい。そのような人には市民活動助成金を使って援助していきたい。

行政のいいところは、全国どこのまちの情報も知れること。民間では考えられないが他の自治体に良い事例を聞けば何でも教えてくれる。

また、協働というのは、お互いにあてにし、あてにされるという状況

になっていることだと考える。

【質問】 桜まつりの際に五条川という線には人が集まるが、市内のその他の場所は閑散とする。その状況を何とかしたい、線から面へと変わるといいと考え、5年ほど前からイベントを行っている。桜まつりのもう一つの桜まつりを作ってもいいというのがきっかけだった。ただ、資金や時間、また、PRしきれないというハードルがある。かぼちゃ祭りでは助成金をもらった。市民団体ではどうしようもないところがある。そういう点は行政にかかわってほしい。

【回答】 その企画が市民全体にとっていいものであれば、市からの委託事業で行う可能性はある。また、市の行事の中で行うのも可能である。ただ、税金を使うことになるので市民全体にかかわるものということ判断する。提案していただき、一緒に考えることはいいことである。ただし、市の予算は年度で行い、次年度の予算は半年前から査定をする。アイデアを相談していただき、方法を考えることになる。

【質問】 これまで5～6回と実績を積んできた。しかし、私たちの団体のことを知らない仲間を募るために訪問しても帰されてしまう。市の支援があると相手も変わると思う。

【回答】 後援の制度が市と教育委員会にある。審査基準があるため一度相談されるとよい。

【質問】 以前、後援の依頼をした際に、他の団体とのバランスで難しいと言われ後援を却下された。

【回答】 以前のお話は、そのような理由ではなくて、目的や予算、事業の計画などの資料を提出するようにお伝えしたはず。資料を用意していただいて、こちらは後援の判断をすることになる。

【質問】 過去の私たちのイベントのチラシを見ていただいて、後援ができる内容か。

【回答】 以前、桜まつりの際にレンタサイクルをやりたいという話をいただいたが、3月時点で内容が詳しく決まっていなかった。もっと早く内容を決定して資料を出していただけないと後援することはできない。

後援をとることも必要ならば、そのようにスケジュールを組んでいただきたい。

【質問】 資料には、イベントの詳細が必要となるのか。

【回答】 前回までの実績があるので、全体の趣旨が変わらなければいい。日付やお金徴収の有無が変わるのはだめである。

特定の好きな人が集まって、そこだけが儲かるのはいけない。広く市民を対象として公平性がないといけない。

- 【質問】 300件の業者に知らせることは大変ハードルが高い。
- 【回答】 商工会を通して募集する方法もある。商工会の後援をとるのもよいのではないかと。告知をする方法がないといけない。知る方法がどこかにないといけない。
- 【質問】 広報いわくりに会員募集の記事を掲載できるのか。
- 【回答】 毎月1日号に市民活動コーナーがある。そちらを利用いただきたい。
- 【質問】 後援申請を行ったことがあるので理解はしているが情報がない。広報に掲載されるのも基準があいまいである。
- 【回答】 あいまいさがあることはやり方が悪いので具体例をあげてほしい。
- 【質問】 後援にあたり何をクリアすればいいのか、具体的な必要なものを受け取れなかった。行き違いもあったと思う。初めてのことでいっぱいでもあった。そろそろ実績をつんできたので次のステップで話をできたらと思う。
- 【回答】 毎年同じ時期に同じ話がある。桜まつりについてももうひとつの桜まつりといっており、桜まつり実行委員会が聞くとどうか。
- 【質問】 オルタナ桜まつりと人さくらまつりは違う。当時のオルタナ桜まつりは人の駅が中心、今は岩倉で仕事をしている人が集まって行っている。
- 【回答】 桜まつり実行委員会に入ってレンタルサイクルなども行えばよいのではないですかと何度かお話をさせていただいた。  
桜まつりの実行委員会に入ってやっていく場合は、後援名義よりもっと早い段階で企画をまとめていくことが必要。また、商工会は商工会員のお店という思いがあり、商工会員でないお店が含まれていると断られる可能性はあるが議題としてあげることはできる。
- 【質問】 昨年商工会と話をした時は、実行委員会に入るのは難しいという雰囲気を感じた。
- 【回答】 今の時点でそのような話があれば明日桜まつり実行委員会の会議があるので話をすることができる。ただし、実行委員会に入ると縛りがあるので、昨年どおりにはいかない。
- 【意見】 どんな縛りがあるのか。協働のルールブックの欠点に営利を目的にそれをどうジャッジするか。指標的なものがあるか。人さくらまつり、人の駅岩倉があった時代のメンバーが再度集まって、プロジェクトを組みなおして次の年へ引き継いできた。行政の依頼がない中でも、岩倉の町を活性化させたいとやってきた。
- 【意見】 市民活動協働ルールブックにお互い対等で進めるとあるが対等ではない。行政と私たちとの考え方が違う。いいことをやっていると思っ

ている。行政は自分たちでやっていると思っている。後援名義をどのように取るかは知らない。その時に教えてもらわないといけない。もっと言うと、市民よりの目線、解決策を感じていない。勝手に言っていると感じている。いいことを行っているという意識が強い。行政も何のために言っているのか考えてほしい。前例主義で否定するのは多い。冷たくあしらわれているように感じる。

岩倉を盛り上げようとして協力してくれる店であればいいので、全員に対して公平にやるべきものではない。

【回答】 後援を得て事業をやるのでなければいい。後援を得ようとするのであれば、そこにかかわる店が公平でなければならない。参加するチャンスが必要なので、商工会を通じて募集をすればいいのではないか。

【質問】 イベントを何のためにやっているかを知ってほしい。市は公平にやらなければならないが、市民活動はそれぞれの得意な分野で活動していく。それをすべて公平にと考えていては、活動に蓋をするのではないか。

【回答】 市民活動を行う際に市の後援を取りたい場合の話をしている。自分たちだけでやるなら、制約はない。

【意見】 「後援の手引き書」のようなものがあると良い。

【回答】 それをやるのが市民活動支援センターの役割。市民活動団体に行政からどのような支援ができるのか市民活動支援センターから伝えてほしい。

【意見】 「後援の手引き書」は企画財政課が作るべきだと思う。誰でも簡単に分かるものにしてほしい。

【意見】 市の施設を予約できるのは3か月前から、せめて6か月前から取れるようにしてくれないと後援をとって大きな事業をすることができない。

【回答】 市民活動助成金対象事業は、市の後援ではなくともとても重みがあると考えている。

【意見】 市の後援があると公共施設等にパンフレットなどを置いてもらえる確率が高くなる。

【回答】 行政の判断は多面的であり厳しいが、結論が出るまで相談してチャレンジして欲しい。

【質問】 北島町や野寄町の高齢者は、桜まつりに行きたくても行くことができない。何かいい方法はないか。

【回答】 デマンドタクシーを利用して欲しい。

- 【質問】 桜まつりの時にふれあいまつりのようなシャトルバスを出すことはできないのか。デマンドタクシーは利用料金が高い。一宮市に住んでいる人からは、岩倉市は何て不便なところなんだと言われた。
- 【回答】 デマンドタクシーは緑ナンバーを取得して行っているのですが、例えば利用料金を100円でやろうとしても国土交通省は許可をしない。タクシーとバスの間の料金でなければいけない。
- 【意見】 デマンドタクシーはもう少し融通が利くといいなという声がある。病院に行く際も帰りの予約が困難である。
- 【回答】 病院の診察が終わったら予約の連絡をするとよい。また、ふれあいまつりのバスについては、1日で20万円ほどの費用がかかる。桜まつりは期間が長いので費用がかかりすぎる。
- 【質問】 週末だけでもバスをやってくれたらいいのではないかと。
- 【回答】 皆さんの行きたい時間に合わせていくなれば結局は全ての時間にバスが必要になる。
- 【質問】 イベントをやる際に、どこかの店のマイクロバスを借りて送迎をしていることがある。そういう場合も届け出などが必要なのか。
- 【回答】 無料ならばいい。市の予算を使うには、サービスを受ける人だけでなく、サービスを受けない人の理解を得ることが必要になる。
- 【意見】 この団体は実行委員長が毎年変わる。連絡の引き継ぎが上手くいかないのは、そういう理由かもしれないが、実行委員長を変えることで人を育て、団体の力を育てている。

副市長あいさつ

以上